

新刊書



青林書院

実践 経営者保証 ガイドライン〔補訂版〕

—個人保証の整理—



野村 剛司 編著

A5判・664頁・(本体価格8,400円) + 税

経営者保証ガイドラインをファーストチョイスに!

- ◆ 活性化協議会手続、「廃業時の考え方」、最新の公表事例を網羅した【補訂版】!
- ◆ 「法人の破産＝経営者の破産」の時代は終わった! 保証債務整理の新たな手法!
- ◆ 支援専門家、金融機関双方の視点から、経営者保証ガイドラインに精通した執筆陣による渾身の一冊! 書式・資料も充実、これ一冊ですべて分かる! 使える!

■ 編著者

野村 剛司 (弁護士) : なのはな法律事務所

■ 執筆者

石川 貴康 (弁護士) : コンパサーレ法律事務所

内藤 滋 (弁護士) : 内藤・さきくさ法律事務所

桶谷 和人 (弁護士・公認会計士) : 植物園法律会計事務所

森 智幸 (弁護士) : 岡山ひかり法律事務所

浅井 悠太 (弁護士) : 浅井法律事務所

尾田 知亜記 (弁護士) : 弁護士法人しょうぶ法律事務所

富田 信雄 (弁護士) : 弁護士法人関西法律特許事務所

■ 目次

第1部 ストーリーによる初めての経営者保証ガイドライン

第2部 経営者保証ガイドラインの意識

第3部 主債務者破産における経営者保証ガイドライン

第4部 主債務者破産以外における経営者保証ガイドライン

第5部 金融機関のための経営者保証ガイドライン

第6部 Q & A 250!

第7部 インタビュー・座談会

第8部 書式・資料集

遠山 純弘 著

請求権から考える民法2〔第2版〕

—契約に基づかない請求権—

A5変・並製・732頁 4,180円(税込) ISBN978-4-7972-5124-1 C3332

問題の考え方と法律知識 待望の第2版

現在、所有者が分からなかったり、適切に管理されていない土地や建物などが大きな社会問題になっており、こうした問題に対応する為に、2021年に、物権法、相続法、不動産登記法等が改正されました。

そこで、本書は、新設された所在者不明土地・建物管理制度や管理不全土地・建物管理制度や、共有・相隣関係に関する制度の変更、相続登記の義務化や相続登記を促進する為の手續の簡易化などの説明を付け加えた上で、初版からのコンセプトでもある、問題点の考え方を理解することで、紛争の解決策を導ける参考書です。

【目次】

◆序

- 1 請求権構成
- 2 請求権規範の探究
- 3 要件の列挙・解釈・あてはめ
- 4 相手方の反論

◆第1編 事務管理に基づく請求権

- 1 意義
- 2 事務管理の成立要件
- 3 事務管理の効果
- 4 準事務管理

◆第2編 物権的請求権

- 1 物権概説
- 2 所有権概説
- 3 所有権に基づく請求権
- 4 所有権の取得
- 5 占有
- 6 物権変動の対抗
- 7 不動産登記
- 8 177条の第三者
- 9 登記を必要とする物権変動
- 10 背信的悪意者
- 11 動産物権変動の対抗
- 12 立木等の物権変動の対抗
- 13 占有の保護
- 14 用益物権

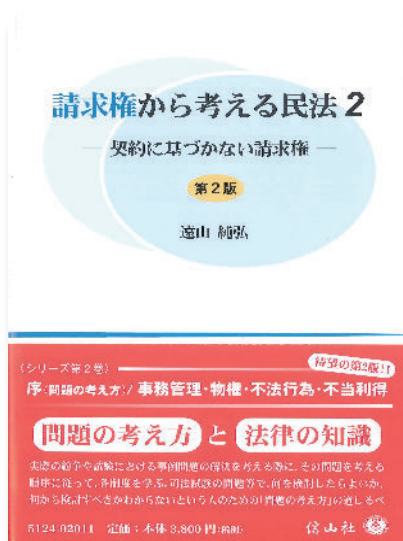
◆第3編 不法行為に基づく損害賠償請求権

- 1 不法行為概論
- 2 不法行為に基づく損害賠償請求権の成立要件
- 3 請求権者
- 4 損害賠償責任の阻却事由—反論1
- 5 損害賠償額の減額事由—反論2
- 6 消滅時効—反論3
- 7 使用者責任

- 8 注文者の責任
- 9 土地工作物責任
- 10 製造物責任
- 11 動物占有者の責任
- 12 共同不法行為

◆第4編 不当利得返還請求権

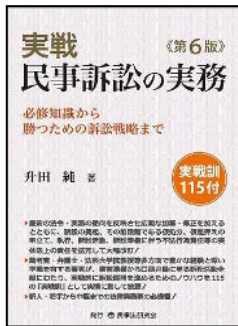
- 1 不当利得概論
- 2 給付利得
- 3 侵害利得
- 4 支出利得
- 5 多数当事者間の不当利得



刊行：2023年3月30日

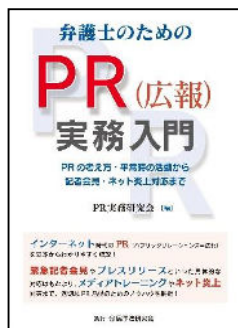
〒113-0033 東京都文京区本郷6-2-9-102 東大正門前
TEL:03(3818)1019 FAX:03(3811)3580 E-mail:order@shinzansha.co.jp

信山社
http://www.shinzansha.co.jp



発刊日	書籍名
2023年 3月19日刊	実戦 民事訴訟の実務〔第6版〕 —必修知識から勝つための訴訟戦略まで—
A5判・665頁・升田 純 著	
<p>事前準備から口頭弁論に至る訴訟活動全般にわたり、実情に則して訴訟展開を有利に進めるための類書にはない実践ノウハウを115の「実戦訓」として収録した関係者の必携書！</p> <p>平成10年に施行された新しい民事訴訟法の立案担当者の1人でもあり、裁判官・弁護士・法科大学院教授等、多方面での豊かな経験と深い学識を有する著者が、新人・若手から中堅の法律実務家のために、知識・能力の向上を図り、依頼者の期待に応えられる実践的な知恵を教示する渾身の書！</p>	

<p>第1部 総論編—実戦・実務のための基礎知識—</p> <p>第1章 本書の目的</p> <p>第2章 紛争と解決の実情</p> <p>第3章 紛争解決の基準</p> <p>第4章 紛争の法的構成</p> <p>第2部 実務編—実戦・実務のためのノウハウ・経験知—</p> <p>第1章 訴訟の準備</p> <p>第2章 書類作成の準備</p> <p>第3章 事件の種類ごとの書類作成の基本</p> <p>第4章 書類の提出と訴訟の流れ</p> <p>第5章 訴訟活動に伴う名誉棄損・プライバシーの侵害</p> <p>第6章 基本書式例</p> <p>参考資料編—実戦に役立つ裁判例—</p>	<p>〔勝つための実戦訓目次〕</p> <p>第1講 事前準備の実戦訓</p> <p>第2講 法廷等における弁論の実戦訓</p> <p>第3講 効果的な弁論の実戦訓</p> <p>第4講 訴訟準備のための実戦訓</p> <p>第5講 訴訟提起のための実戦訓</p> <p>第6講 管轄の選択にあたっての実戦訓</p> <p>第7講 書類作成にあたっての実戦訓</p> <p>第8講 法廷における対応の実戦訓</p> <p>第9講 口頭弁論への心構えの実戦訓</p> <p>第10講 和解勧告への実戦訓</p> <p>第11講 判決に対する心構えの実戦訓</p>
---	---



発刊日	書籍名
2023年 3月25日刊	弁護士のためのPR(広報)実務入門 —PRの考え方・平常時の活動から記者会見・ネット炎上対応まで—
A5判・159頁・PR実務研究会 編	
<p>インターネット時代のPR（パブリックリレーションズ＝広報）実務を基本から緊急時の対応・平常時の対応までわかりやすく解説！</p> <p>緊急記者会見やプレスリリースといった具体的な対応はもとより、メディアトレーニングやネット炎上対策まで、適切なPR活動のためのノウハウを網羅！</p>	

<p>第1章 PR概論</p> <p>第2章 危機管理広報</p> <p>第3章 緊急時の広報(1)—緊急記者会見</p> <p>第4章 緊急時の広報(2)—ネット炎上の対応</p> <p>第5章 平常時のPR活動</p>	<p>第6章 プレスリリース</p> <p>第7章 メディアトレーニング</p> <p>第8章 メディアの種類と傾向</p> <p>第9章 リスクマネジメント</p> <p>第10章 マーケティング・ブランド戦略とコミュニケーション</p>
---	--



発刊日	書籍名
2023年 3月19日刊	専門訴訟講座③ 保険関係訴訟〔第2版〕
A5判・831頁・山下 丈・山野嘉朗・田中 敦 編	
<p>保険法ほか保険業法、各種約款および損害（火災・自動車等）、生命、傷害の各種保険の知識まで要し、一般の民商事契約に比べ特殊で理解が容易でない印象の保険紛争につき、研究者・実務家・裁判官が専門知識を駆使して解決の理論と実務指針を明示！</p>	

<p>第1部 保険関係訴訟の法理</p> <p>第1章 重要保険判例の展開と今後の課題</p> <p>第2章 損害保険</p> <p>第3章 生命保険</p> <p>第4章 第三分野の保険</p> <p>第5章 保険募集規制</p> <p>第2部 保険関係訴訟の実務</p> <p>第1章 保険金請求に関する実務上の諸問題</p> <p>第2章 火災保険訴訟の実務</p> <p>第3章 自動車保険訴訟の実務</p> <p>第4章 生命保険訴訟の実務</p>	<p>第5章 傷害保険訴訟の実務</p> <p>第6章 損害保険訴訟と保険業法</p> <p>第7章 生命保険訴訟と保険業法</p> <p>第3部 保険関係訴訟と主張・立証責任</p> <p>第1章 総論</p> <p>第2章 火災保険金請求と主張・立証責任</p> <p>第3章 生命保険金請求と主張・立証責任</p> <p>第4章 自動車損害保険金請求と主張・立証責任</p> <p>第5章 傷害保険金請求と主張・立証責任</p> <p>第6章 賠償責任保険金請求と主張・立証責任</p>
---	---